



第16号誌

2023年 [制作・発行]

- 行田市在宅医療・介護連携推進協議会
- 行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ

TEL.048-556-1111
(内線 338・278)

ご自由にお取り下さい

行田人(ぎょうだびと)は、行田市の「医療と介護の連携」を推進・紹介し、市民のみさんの生活をサポートする広報誌です。

在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護が連携して、地域住民の療養や生活を支援する取り組みを行っています。

第14弾!

ふら平さん サポート大作戦!

行田市在住のふら平さん一家の30年後。だいぶ体が不自由になってきているふら平さんを支えるために、医療・介護の専門職がどのように関わっていくのかをご紹介します。

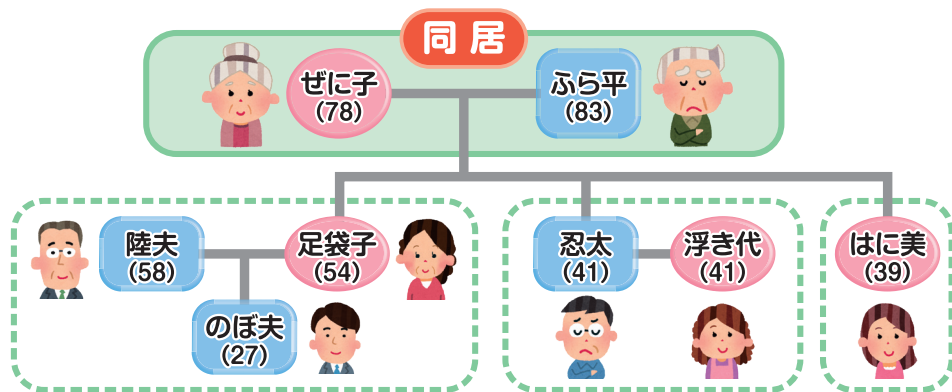
30年後(2050年)のふら平とぜに子

ぜに子 (78)

体の問題はない。軽いもの忘れあり。大きな病気はなく、ふら平の身の回りの世話をしている。60才から始めたお花の教室を自宅で開いている。

脳梗塞の後遺症、肺気腫。78才の時に軽い脳梗塞を患い、進行性の肺がんもある。肺の病気のため、動くとき息が切れ、寝たり起きたり。「わしゃ家で死にたい」と言っている。

ふら平 (83)



「アルツハイマー型認知症」と診断されたぜに子さん。認知症の特徴的な症状である「失行・失認・失語」が日常的に見られるようになり、家族もどう対応してよいか心配しているようです。

最近、お母さんが **お茶の入れ方が分からなくなってきたのよー。**
お茶っ葉をそのままポットにいれたり…。

認知症になると、**日常的な動作が分からなくなったり、複数の事ができなくなってしまうこと**もあるようだね。

長女 足袋子

長男 忍太

認知症の中核的な症状の一つである「失行・失認・失語」について次のページで紹介します。

認知症の 中核症状 **失行・失認・失語**

自分自身の言葉や感覚、動作が
思うように操作できなくなる症状です。

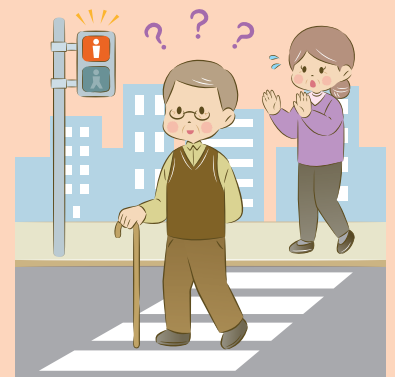


失行



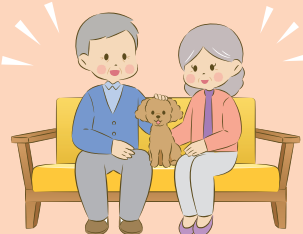
日常的な動作が分からなくなってしまう症状です。リモコンの使い方や服の着方が分からなくなることがあります。また、複数の手順がある作業が難しい場合もあります。本人が分かりやすいように目印をつけたり、簡単な作業に変えたりするなどのサポートが必要です。

失認



感覚や状況、空間などを認知できなくなる症状です。視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚の五感によって理解ができなくなります。触られていることはわかっていても、それが何かはわからない。自分のいる場所が分からなくなる等があります。また、自分の身体の半分の空間が認識できない「半側空間無視」も失認の症状です。半分の空間が認識できない為、全部食事を食べたと思っても食事を半分だけ残っているのが見えていない事があります。道を歩いている時には道路にあるもの（人や障害物等）が見えずにぶつかってしまう事もあるので、**外出時にはサポート**が必要です。

失語



言葉をうまく操ることができなくなる症状です。失語にはいくつか種類があります。例えば、流暢に話していても言葉の理解が障害される場合のある「ウェルニッケ失語」、言葉の意味は保たれているが、言葉がスムーズに出ない「ブローカ失語」があります。話にしっかりと耳を傾けて、**相手が緊張せずに話せるように見守ってあげることが必要**です。

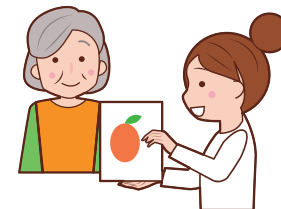


失語に対するリハビリテーションの一例

失語とは、身体的異常がないにもかかわらず言語機能に支障をきたす障害です。失語では「聞く」「話す」「読む」「書く」などの言語操作が困難になります。

個人差があるので参考までになりますが、病院でリハビリテーションを実施する際に行う失語症の症状にあわせた一例になります。

失語症の症状かなど疑問に思ったら、直ちに病院に受診してください。医師から診断を受け、必要に応じてリハビリテーションを行う流れになります。



行田総合病院リハビリテーション科 寒河江

① 聞く（聴覚）能力のリハビリテーション

読み聞かせ、言葉の復唱・言葉と意味の結びつきの理解を促す 等

② 話す能力のリハビリテーション

イラスト等を示して、名称を繰り返す・名称をあてる・挨拶をする 等

③ 読む（読解力）能力のリハビリテーション

イラストと言葉のカードでカルタをする・絵の状況と言葉を照らし合わせる 等

④ 書く能力のリハビリテーション

文字の聞き取り・模写・一言日記を書く 等



認知症を予防する
5つのポイント

「他者との交流」「運動する」「生きがいをもつ」
「趣味をもつ」「生活習慣病予防、治療」

人生ファイル研修会を実施しました！

令和5年1月20日と3月10日に、総合福祉会館「やすらぎの里」にて『人生ファイル研修会 ～便利だよ！あなたと「わたしの人生ファイル」』が開催されました。市内の医療・介護事業所から専門職が参加し、「わたしの人生ファイル」の活用方法について学び、グループワークを通して理解を進めました。

参加された専門職の皆さんは、ファイルの存在を知っている人、初めて知った人、すでに活用している人など様々でありましたが、医療介護の専門職が「持っていると便利」と共通の認識であることが理解でき大変明るい気持ちになりました。



グループワークでは、便利なものをより多くの方に利用していただくための方策や、人生ファイル内容の深堀をめざして我職種としての強みや他職種に依頼したいことなどグループワークを進め、医療・介護の双方が不足を補うことを求めていることが見えてきました。人生ファイル研修で医療と介護の連携の大切さを改めて学ぶことができたと思えました。

「わたしの人生ファイル」一人でも多くの方に知っていただき、活用していただけることを願っています。

まきば園デイサービス 前田

これからの人生をどう過ごすか考えてみませんか？

わたしの人生ファイル

③笑顔の旅立ちのために 編

「わたしの人生ファイル」は自分自身の医療や介護の情報を1冊にまとめて置くことが出来るファイルです。「これからの私」のページは、いざというときにどうしたいかを書き留めておくことで、**家族や支援者があなたの気持ちを理解する助け**となります。



いよいよお別れの時期が近付いてきたふら平さん、最近は食べる量が減ってきて、うとうとと眠っていることが多くなりました。妻のぜに子さんは心配になり、かかりつけ医の先生に相談をしました。

主人はご飯をほとんど口にできなくなってしまって…お茶もあまり飲もうとしないんです。点滴をした方がいいのでしょうか？



ぜに子



「これからの私」より

家がいい。
胃ろうや人工呼吸器は
つけたくない。
心臓マッサージも
しないで欲しい。
痛いのが苦しいのは嫌だ。

ふら平



ふら平さんは、最後の時が近づいており、体の色々な機能が低下してきました。空腹を訴えないときに無理に食べさせても、消化吸収することが難しいでしょう。また点滴で水分を体に入れても、適切に処理することができず、手足がむくんでしまったり、お腹の腸のまわりにたまって痛みや張り、胸の肺のまわりにたまって息苦しさを引き起こすかもしれません。さらに冷たい液体を腕から流し込まれるため、肩こりや首の痛みの原因となる恐れもあります。「〇〇が食べたい」というときに少しずつ食べさせてあげる、「△△が飲みたい」というときに少しずつ飲ませてあげる、というのをおすすめします。

「わたしの人生ファイル」の利用をご希望の方は行田市役所高齢者福祉課窓口
またはお近くの地域包括支援センターにお問い合わせください。

「行田人(ぎょうだびと)」は、市内医療機関、歯科医院、薬局、介護事業所、市役所窓口等で配布しております。
ご希望の方は各機関の窓口にてお申し出ください。

